

令和5年度活動状況

1. 漆喰製造販売の田川産業株式会社および筑豊地域の古代古墳や世界産業遺産の調査

令和5年度の活動は、当法人の研究内容の一つである、「漆喰の土木材料への適用の歴史と製造法の地域性」（軍艦島護岸擁壁の天川漆喰や通潤橋の導水管の止水材料）を対象として、漆喰材料生産日本一の田川産業株式会社の工場見学を主目的に行い、その他、筑豊地域の古代遺跡や石炭産業に係る文化遺産を巡った。

開催日時 : 令和6年2月8日（木）

見学ルート :

- 1) 桂川町 王塚装飾古墳館
- 2) 飯塚市 旧伊藤伝衛門邸
- 3) 田川市 田川産業の漆喰工場見学
- 4) 田川市石炭歴史博物館 山本作兵衛コレクション

見学会の詳細なレポートを石貫理事にまとめてもらいましたので、別途資料として添付しています。

「前方後円墳・炭鉱の土木遺産と漆喰製造工場の実施調査」報告書参照。

2. 地盤工学会九州支部 福岡県久留米市田主丸町竹野地区の土石流調査

令和5年7月7日からの集中豪雨により、福岡県を含む全国各地で斜面崩壊や氾濫浸水により、人的および家屋への甚大な被害が発生した。特に、福岡県久留米市田主丸町竹野地区では、千ノ尾川の上流部の崩壊により土石流が発生し、河道をオーバーフローして谷の出口から集落のある地点までに土砂や流木が氾濫堆積した。地盤工学会九州支部の調査先遣隊として参画し、その千ノ尾川の上流部の現地調査結果を、9月1日に開催された報告会で福岡大学工学の村上哲教授と発表した。

調査先遣隊の報告の概要は、地盤工学会誌2024年1月号に掲載されています。ここでは、9月1日に報告した資料をホームページに掲載しています。

「千ノ尾川の土石流災害（源頭部から合流部までの崩壊と土石流流過状況）」

（2023年9月1日報告会 プレゼンテーション原稿）

3. 西九州自動車道道路法面施工技術検討委員会への参画

国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所の委員会

（委員会設立趣旨）

2018年10月に供用中の西九州自動車道で切土のり面崩壊が発生した。この崩壊箇所周辺は、第三紀の堆積岩類からなっており、その特徴的な風化特性や長大切土による地下水環境の変化などの複雑な要因が絡んで崩壊に至ったとされている。

西九州自動車道伊万里松浦道路・伊万里道路においては、今後も設計・施工が進められていく予定であり、この崩壊を教訓として、第三紀の堆積岩類が潜在的にもつ崩壊要因を明らかにして、それを踏まえた調査設計施工マニュアルの作成を目指すものである。

(委員名簿)

委員長	安福 規之	九州大学	教授
委員	池見 洋明	日本文理大学	教授
〃	石蔵 良平	九州大学	准教授
〃	落合 英俊	九州大学	名誉教授
〃	佐藤 研一	福岡大学	教授
〃	日野 剛徳	佐賀大学	教授
〃	矢ヶ部秀美	NPO法人研究機構ジオセーフ	理事
〃	甲斐 靖志	国土交通省九州地方建設局道路部	特定道路工事対策官
〃	大榎 謙	国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所	長

(活動状況)

今年度は、第5回西九州自動車道路切土法面施工技術検討委員会が令和6年1月17日に開催され、対象道路における調査・設計・施工と維持管理につながる技術指針(案)の内容の詳細検討を行った後、指針案が完成しました。今後は、佐賀国道事務所管内の切土法面の調査・設計・施工並びに維持管理で運用し改良を加えながら、九州・沖縄における堆積軟岩地帯への指針の拡張を目指し鋭意努力することとなりました。

4. 2024 海域港湾空港技術報告会 in 福岡の開催

報告会は、令和6年2月21日(水)の13:00~17:30で開催されました。開催方法は、会場とWEB(Microsoft Teams)によるハイブリッド方式でした。

主催 : 九州地方整備局港湾空港部
九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催 : (公社)地盤工学会九州支部
九州大学学術研究・産学官連携本部
(一財)沿岸技術研究センター
(一財)港湾空港総合技術センター
特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ
博多港ふ頭株式会社
(一社)日本埋立浚渫協会
(一社)港湾技術コンサルタンツ協会
九州港湾空港建設協会連合会

参加者は、会場が88名、オンラインが49名の計137名の方々が参加されました。



報告会の状況①



報告会の状況②

2024 海域港湾空港技術報告会 in 福岡のリーフレットと報告会のプログラムを資料としてホームページに掲載しています。また、事務局にプレゼンテーションの資料をまとめられた報告書を頂きました。

—以上—